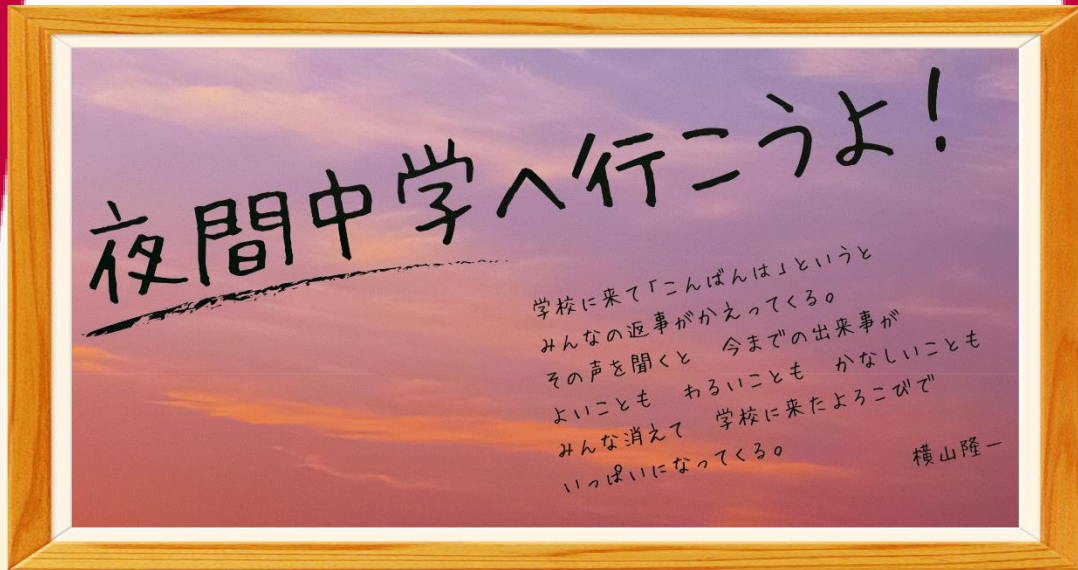


令和3年度第1回文大名画座

夜間中学ドキュメンタリー

文部科学省選定

こんばんはⅡ



本学の学校教育学科 邊見 信講師によるわかりやすい解説付きで上映します。

【ゲスト】 「こんばんはⅡ」監督 森 康行さん
「全国夜間中学キャラバン」 澤井 留里さん
関 美江子さん

日 程:令和4年1月28日(金)18:30~20:30

終了時刻が早まる場合があります。

受 付:18:00~18:30 ※受付時に、検温と手指消毒を行います。

場 所:都留文科大学 2号館 101 教室

講 師:邊見 信(都留文科大学)

定 員:100名(定員に達し次第、締め切ります)

申込受付開始:12月22日9:00~ ※事前申込必要

参加
無料

学校教育学科専任講師 邊見 信

専門:日本教育史・臨床教育学

ネット環境や教材の多様化で誰にでも学びが開かれているように思われる現在。「学びを保障する」とはどういう営みか、何を共通理解として形づくっていく必要があるのか。

映画を通じて、皆さんと考えていきたいです。



義務教育未修了の方は百数十万人

政府の統計では、学歴がゼロという方だけでも128,187人います。さらに小学校のみ卒業、中学校中退、義務教育猶予の障がい者、ほとんど実質的に学ぶことができず、形だけ卒業してしまった不登校経験者、外国につながる人などを加えると、その数はさらに多くなります。

公立夜間中学と自主夜間中学

2019年4月現在、公立夜間中学は9都府県に33校。開設に向けて各地に動きがあるものの、限られた地域にわずかしかないため、義務教育未修了者の学びの願いにはボランティア団体が運営する「自主夜間中学」がかすかに応えているのが現状です。この映画には公立と自主の両方の夜間中学が描かれています。

※設置状況(2021年4月):12都府県に36校

学ぶことは
生きること

全ての人に
学ぶ権利がある

その声を社会全体の常識に!

〈基本的な学びは、年齢・国籍などにかかわらず、どんな人にも生きるためになくてはならないものだ〉この映画に登場する人たちがそれを証言しています。国や自治体はこれに応える責任があります。また、学べなかったことを自分のせいにしてひっそり生きてきた人たちに、そうではない、今からでも遅くない、ぜひ学んでほしいと声を大にして呼びかけていきましょう。



監督:森 康行(「こんばんは」第77回キネマ旬報文化映画ベスト・テン第1位)

ナレーター:大竹しのぶ

制作・著作:夜間中学校と教育を語る会

2019年制作/ドキュメンタリー/カラー/37分

申込受付開始:12月22日9:00～ ※事前申込必要



【申し込み方法】 1名様ごとにお申し込みください。

- ① 大学ホームページの専用ページから申し込む。
- ② QRコードから申し込む。
- ③ メールから申し込む。ckouryu@tsuru.ac.jp

お名前(フリガナ)・年齢・住所・連絡先(電話番号とメールアドレス)を記入ください。



※「受付けました」という内容のメールが大学から送信されない場合は、メール設定、メールアドレスの打ち間違い等が考えられます。お手数ですが、地域交流研究センターまでご連絡ください。

【問い合わせ先】 都留文科大学 地域交流研究センター ☎ 0554-43-4341 (対応時間 平日 9:00～16:30)